

章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち
大項目	04	男女共同参画社会の構築
施策	03	家庭生活を男女がともに担うための支援

目的

固定的な性別役割分業にとらわれず、男女がともに家庭生活における責任を果たすための意識づくりを推進します。

対象・手段

対象:社会一般

手段:男女共同参画のための啓発誌「しんじゅくフォーラム」を発行します。

施策の方向

家庭生活における男女平等観の育成と支援策の推進

成果指標

指標名		定義		目標水準		
家庭における男女平等観		区政モニターアンケートで、「家庭生活で平等である」との回答割合		(平成19年度に)	() 年度に	
				(60%) の水準達成	() の水準達成	
				() 年度に	() 年度に	
				() の水準達成	() の水準達成	
施策の達成状況						
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
施策 成果 指標	目標値1	%	60.00	60.00	60.00	
	実績1	%	24.60	35.70	36.40	
	目標達成率1 = /	%	41.00	59.50	60.67	
	目標値2					
	実績2					
	目標達成率2 = /					
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

所管部	総務部
-----	-----

主な取組み

「しんじゅくフォーラム」の発行(年1回)

課題

「しんじゅくフォーラム」は、区民の方を取材するなど、親しみやすく身近なものになるよう工夫しています。しかし、編集については業者委託しており、区民との協働という視点が欠けています。また、25年前の創刊当時と比べ社会情勢が大きく変化しており、情報提供のあり方を検討し、見直す必要があります。

評価

総合評価	
<p>本施策は、男女共同参画社会の構築に向け、固定的な性別役割分業観にとらわれず、さまざまな家庭が自立して生活を営み、男女がともに家庭における責任を果たす意識づくりを支援するための施策です。平成18年度の区政モニターアンケートでは、「家庭生活」において「男女平等」になっている、と回答した人は36.4%で、まだ十分に意識啓発が行われているとはいえません。今後も地道に意識啓発を推進していく必要があります。</p> <p>しかし、「しんじゅくフォーラム」は創刊から25年が経過し、この間の社会情勢の変化などから、編集方法や紙面づくりについて、他自治体の状況などの情報収集を行い、区民との協働を取り入れることや男女共同参画推進センターで発行している「ウイズ新宿」と統合することなど、情報提供のあり方を検討しました。</p>	B

今後の取組み・改革の方針

男女共同参画社会の実現に向け、意識啓発のための情報提供のあり方を検討しました。「しんじゅくフォーラム」は創刊から25年が経過し、この間の社会情勢の変化などから一定の役割を終えたと考え、今号をもって最終号とします。今後は編集委員を公募し、新たな情報啓発誌「ウイズ新宿」として発行します。

施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
男女共同意識啓発のための情報提供	B	131		